

そだちあい

No.35

発行 社会福祉法人 ひらきの里 〒753-0302 山口市仁保中郷10043番地
TEL : 083-929-0312 FAX : 083-929-0357
ホームページURL : <http://hirakinosato.com> email : hiraki@c-able.ne.jp

社会福祉法人ひらきの里 理事長 平尾 要

利用者、保護者、関係機関の皆様におかれましては、日頃より、「ひらきの里」の運営にあたり格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この5月ひらきの里設立準備会からの役員、米田理事が急逝されました。保護者会会長としてもひらきの里を支え続けてこられました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年は3年に1度行われる報酬改定の年でした。障害福祉の報酬改定・制度改定とは、社会情勢を踏まえて行われる報酬・制度の見直しのことです。2006年に障害者自立支援法（現：障害者総合支援法）が施行されました。以降、社会情勢の変化に合わせて3年に1度見直しが行われています。

結果として、障害福祉の改定率は1.12%の報酬増。今回の改定では、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬が3つ同時に改定される同時報酬改定となります。

ちなみに、病院や高齢者施設に関わる診療報酬は0.88%増、介護報酬は1.59%増でありました。

「人材確保」「物価高騰」「賃金上昇」などの社会情勢を考慮した改定が行われたということですが、現実には簡単に集まらない状況に加え、ここ数年は物価、資材が年々上がり続け、光熱費も高騰を続けています。また、他の業種の賃金上昇には追いつかないどころか全く足りていないとも感じています。我々が頂いている報酬は税金からであり、報酬単価は国が決めています。事業者には決定権はありません。本来、福祉は国が責任をもって行うものであることから、現状に合った報酬改定を強く希望したい。医療・介護・障害福祉は人が安心して生きていくことを支える基盤であることから、社会情勢を見ながらではありますが、毎年の報酬改定検討があっても良いと考えており、国に訴えていくべきであると考えます。

社会福祉法人ひらきの里 施設長 松本 正

この夏、オリンピックがフランスのパリで開催されます。前回大会の東京では感染症の流行により1年延期となり、今回のパリ大会では3年の期間を経て開催となります。パラリンピックも同様にオリンピック終了後に開催されます。参加選手やスタッフの方々は、現在のパフォーマンスを維持する努力を日々続け、活躍することを思い大会を迎えます。

世界に目を転じると、ウクライナでの争い、さらには、パレスチナでの争いと止む気配はありません。オリンピックは、スポーツを通じた人間育成と世界平和を目的とした大会であり、その成り立ちは、争いが絶えなかった古代ギリシャでは、休戦を促すために競技大会を開いたのが古代オリンピックの始まりともいわれています。争いを止めるきっかけとしてスポーツの祭典があるとするなら今一度、オリンピックの意義を問い直す必要があるのかもしれません。

現在の日本での福祉制度の多くは、戦争の後「生き抜く」ことを目的に国土の復興と併せ「戦後の窮状による貧窮と保護」そこからの脱却を目指し社会福祉事業が制度化され現在に至ります。

当時の福祉は「保護」を目的とし、現在の福祉は「自立」と「共生」が課題となっています。但しそこに潜む「格差・貧困・孤立・不安」戦後79年が経過しても課題に程度の違いはあれども、より複雑化、個別化しています。その上で私たち支援者は各々の課題に向き合う必要が出てきています。福祉の根幹は「人の幸せ」「対人援助」それを実現するための「知識と技術・思い」が必要となります。

私たち支援者は、様々な背景と制度の変遷の上で、今を、未来を思い描き「学ぶ心と技術」「思い」を持ち、これからの発信し続ける必要があると強く思います。

令和5年度 日帰り旅行を振り返って

まきば棟

令和6年3月15日まきば棟では「なぎさ水族館・竜崎温泉での昼食（周防大島町）」への日帰り旅行を行いました。3月の旅行となり、寒さも懸念されましたが天気にも恵まれ気温も高く、春らしい旅に出かけられました。また当日に向け、利用者さん・保護者さんに楽しんで頂けますように職員一同、準備を進めて参りました。

今年度は久しぶりに保護者さんも一緒に同行頂き、計40名の大所帯での旅行となりました。約5年ぶりの大勢での旅行！ということもあり、久しぶりに保護者さんとお会いになる利用者さんもおられ、楽しく・穏やかに、そして「いつものまきば棟らしく」大変にぎやか（笑）に一日を過ごしました。

水族館については、「県内にあるけど行ったことない・海辺で自由に散策も・ふれあいも出来るらしい」とのことから計画を立て実際に行ってみました。何といても時間が掛かり、待てど待てど到着せずかなりの時間をバス内で過ごすことに…（乗車時間大変長くすみませんでした！）。館内は思いの他小ぢんまりとした感じではありましたが、触れ合いも兼ね楽しむことができました。海に囲まれた景色は絶景でした。

竜崎温泉での昼食は懐石料理！刺身に釜めしと普段はあまり食す機会の少ない食事を堪能。よい、家族団欒を過ごせたかなと思います！我々も美味しく、楽しく食事を堪能できました。また、利用者さんと保護者さんの交流の場となったことや情報交換を行うことができ、充実した会食であったように思います。

久しぶりの棟全体旅行ということもあり、計画がうまくいくかな？楽しんで頂けるかな？と不安な面も持ちながらの旅行になりました。しかし、バス車窓を眺める楽しそうな姿や満腹で満足そうな皆さん。そしてご家族で団欒する安心された表情の方を見られ、まずは無事に終え楽しむことが出来安堵しております。また、普段みられない皆さんの一面をみることや、新たな発見があったように感じております。この経験を施設やご自宅での生活において自信をもって過ごせる場面を増やすことに繋げて参りたいと考えております。そして今後も日常生活が緩和し活動の幅が広がる中で、様々な楽しみを共有できればと思います。



そよかせ棟

そよかせ棟は令和6年3月15日に下関方面への日帰り旅行を予定していましたが、コロナ感染が広がってしまい、残念ながら叶いませんでした。その日の旅行を待ち遠しく、楽しみにされていた利用者さんの思いに少しでも添えるよう、4月に日帰り旅行に代わる外出を計画し行いました。

利用者さんと職員とが2班に分かれ、1班は光市の冠山総合公園にあるイタリアンレストランに、2班は下松市笠戸島の国民宿舎「大城」に行ってきました。それぞれにきれいな緑や海の景色を楽しみながら、旬のおいしい料理を味わいました。食後は街のお菓子屋さんや道の駅に立ち寄り、おやつ時間も満喫し帰路につきました。



公用車での小旅行となってしまいましたが、行く先々でゆっくりでき、利用者さんからは「おいしかった」「また行こうね」との声も聞かれ、とても嬉しそうな顔を見ることができてよかったです。

今回、保護者の皆様と一緒にいくことができず、残念な思いでした。今年度は全員で思い出に残る楽しい旅行ができることを願い、励んでいきたいと思っております。

令和5年度 日帰り旅行を振り返って

オアシス棟

令和6年3月15日、新たな一年の始まりにあたり、世界中で広がったコロナウイルスの影響が少しずつ収まってきた中、久しぶりに保護者の皆様と一緒に日帰り旅行に出かける機会を得ることができました。感染の危険性が依然として潜んでいることを考慮し、各棟ごとに計画を立て、安全を確保しながら楽しい時間を過ごしました。

オアシス棟利用者15名、保護者12名、職員8名の合計35名で観光バスを利用し、柳井にある、やまぐちフラワーランドへ出発しました。

柳井まで、和気あいあいとバスに1時間ほど揺られ、やまぐちフラワーランドへ到着した私たちは、広場の花観覧車を背景に、笑顔あふれる集合写真を撮りました。当日は快晴に恵まれ、園内には春の草木による素晴らしい風景が広がっており、お花を見てまわる方や、広場でボール遊びをされる方もおられたりと、利用者の皆様がそれぞれの思いをもって楽しんでいる姿が印象的でした。

お昼となり、お腹を空かせた私たちは柳井クルーズホテルで昼食をいただきました。こちらのホテルは利用者さんのことを考慮して作られた懐石料理が提供され、心も体も満たされるひとときとなりました。



旅行を終えて無事にひらきの里に戻ると、一日の楽しい思い出が心に残りました。旅行中、利用者さん達が保護者さんと共に楽しみ、笑顔で過ごす姿を目にする中で、普段とは異なる表情や感情を見ることができました。その瞬間、何が本当に大切なのかを再確認することができた貴重な旅となりました。

のぞみ棟

今回、のぞみ棟は山陽小野田市の花の海へ行ってきました。4年ぶりに保護者さんの参加もあり、皆さん嬉しそうな表情で出発。3月は菜の花の時期で、花の海に着いてみると一面に黄色い菜の花畑が広がっていました。気持ちのいいお天気の中散策しながら、間近に菜の花を楽しむことができました。

その後は皆さんお楽しみの昼食です。宇部国際ホテルに移動し、昼食をいただきました。その際、併せて3月に80歳（傘寿）を迎えた今出さん（ひらきの里では最高齢）と、77歳（喜寿）を迎えた蔵田さんのお祝いを行いました。傘寿の今出さんには黄色のちゃんちゃんこを、喜寿の蔵田さんには紫色のちゃんちゃんこを着用していただきました。ホテルの方が



サプライズでお誕生日の音楽をかけて下さったり、ケーキを食べたりしてみんなで祝いできたので、御本人さんも、他利用者さんにもこにこ笑顔で喜ばれていました。

ひらきの里も高齢利用者さんが増えていますが、今回の様にまたみんなで祝いができるよう、楽しみながら健康に長生きしてほしいと職員一同願っています。また、来年は還暦の利用者さんもいるので盛大にお祝いしたいなと思っています！

令和5年度 日帰り旅行を振り返って

グループホームⅡ

令和6年3月、柳井に向けて！大型バスに乗っての日帰り旅行を楽しみました。

目的地はやまぐちフラワーランド、保護者様参加の旅行は数年ぶりという事もありバスの中ではいろいろな会話に花が咲いていました。

フラワーランドでは、晴天に恵まれ、春の陽気な気候の中、3.5haの少し勾配のある園内を思い思いに気の向くままに散策すること1時間、いい運動と鑑賞を行う事が出来ました。

その後は、柳井クルーズホテルに移動して昼食となりました。柳井は海に近く鯛が有名なのでしょうか？鯛のお鍋の付いたお膳を頂きました。フラワーランドでよく歩かれ、お腹もすいていた為か、皆さんよく食べられていました。

帰りの車内は、食事を摂り終え満腹感もあってか、全体的に静かでウトウトされている方もいました。

保護者様と合同の旅行は久しぶりでしたが、とても落ち着いて行動され、ケガや事故なく終える事ができました。ありがとうございました。

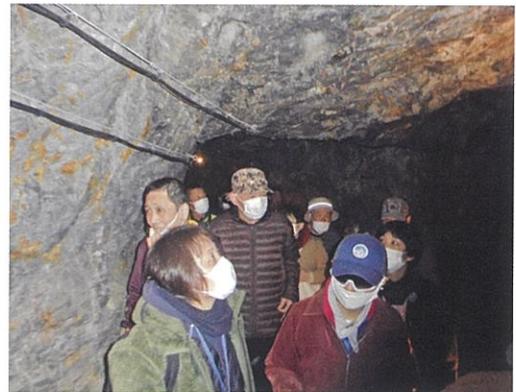


グループホームⅢ

グループホームⅢは、美川ムーバレーに行きました。

今回は保護者も参加頂いた久しぶりの日帰り旅行になりました。

美川ムーバレーは、旧鉱山跡を洞窟探検風に改装した施設です。事前の資料だと、結構歩くのかな、勾配はきついのか、暗くて迷子の方ができるのでは、といった不安がありました。現地ではガイドさんが付き添われ、最短コースでの案内だったので無事、観覧できました。コース内では光、滝、風を感じる事が出来て、非日常を味わうことができたのではないのでしょうか。この後、道の駅ピュアラインにしきの別棟で昼食をいただきました。お膳弁当形式でしたが、ボリュームたっぷりの食事、小食の方には満腹になるくらいの満足行く食事でした。食後は、道の駅内を散策したり、ソフトクリームやジュース、お土産を購入して過ごしました。美川ムーバレーは砂金採りもあり、週末はレストランや入浴も利用できるので、夏の避暑地として行って見るのもいいと思います。



子ども通所サービスあぼろの取り組み

子ども通所サービスあぼろ 児童発達支援管理責任者
平尾 裕美子

子ども通所サービスあぼろは、発達障がいのあるお子さんを対象とした児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の多機能型事業所です。

子どもたちの特性を理解して一人ひとりに合わせた療育プログラムを組み立てて支援をしています。子どもたちの強みや好きな活動に注目してスケジュールやコミュニケーションブックなどを活用しています。スケジュールと一緒に確認しながら「これやったらこれできるよ！」のスタッフの声かけに子どもたちもスケジュールに注目しています。コミュニケーションブックから好きなものを選択してスタッフに渡すと欲しいものがもらえた！という経験も繰り返し行うことで子どもたちの伝えたい要求を理解することができてコミュニケーションの幅も広がります。

ご家族へのアプローチとして、児童発達支援では、お子さんの発達障がいの特性や発達の状況を知るためにマジックミラーから実際にお子さんの様子を見てもらっています。利用後に視覚的なツール（スケジュール／コミュニケーションブック／ワークシステム／手順書等）と一緒に確認しながらご家庭のヒントとなるように提示の仕方なども振り返ります。ツールの作成も希望される保護者にはスタッフが一緒に作成する時間を設定しています。

あぼろという名前にはチャレンジの意味も込めています。子どもたちができないとあきらめるのではなく「こうやったらできた！」「これがあったからできた！」とたくさんの「できた！」を経験してもらいたいと思っています。

これからも、ご家族と一緒にお子さんへの理解を深めながら、家庭や地域で自立して生活するために身に付けたいことや必要な支援について考えて取り組んでいきます。

* 児童発達支援事業

(火-土 9:30~14:30)

19名の幼児さんが利用されています。

生活面、コミュニケーション、集団参加、遊び、日常生活に必要な活動、認知面での学びなどについて個別支援計画を作成して取り組んでいます。

* 放課後等デイサービス

(火-金 14:30~18:00 / 土 9:30~18:00)

75名の児童さんが利用されています。

1人で取り組む学習、作業の経験、小集団活動に必要なスキルやコミュニケーションのサポートなどについて個別支援計画を作成して取り組んでいます。

将来に向けて、就労、余暇、社会性などへのアプローチについても考えていきます。

* 保育所等訪問支援事業

保護者からの依頼で32名が利用されています。

保育園、幼稚園、学校などへ月1~2回訪問して支援を行っています。

お子さんの支援を先生と一緒に考えることでご家族の安心にも繋がります。



新人職員紹介



竹尾 真鈴 (たけお まりん)

＜所属＞障害者支援施設ひらきの里 そよかぜ棟
 ＜趣味・特技＞野球観戦、音楽鑑賞
 ＜好きな食べ物＞甘い物全般…特にアイスクリームが大好きです！
 ＜一言＞4月よりそよかぜ棟の職員としてお世話になっております。初めての職場で慣れないことばかりですが、先輩職員さんや利用者さんの笑顔に支えられ、楽しく働くことができています。利用者さんと良い関係を築き、日々の生活を支える存在となるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



有吉 健太郎 (ありよし けんたろう)

＜所属＞障害者支援施設ひらきの里 オアシス棟
 ＜趣味・特技＞服屋、美味しいご飯屋さん巡り、散歩
 ＜好きな食べ物＞カレーライス、唐揚げ、ラーメン…美味しい物なら何でも大好きです！
 ＜一言＞利用者さんの生活を支援し、利用者さんにとって身近な存在になりたくひらきの里に勤めさせていただきました。救護施設、特別養護老人ホームの経験を経て、初めての障害者支援施設であり緊張した毎日を送っています(笑) 今まで得た経験を少しでも活かして、利用者さんの生活や特性を考慮した支援をしていきたいです。利用者さん、職員のみなさんと共に笑って日々の業務に務めていきたいと思ひます。



山下 正哉 (やました まさや)

＜所属＞子ども通所サービスあぼろ
 ＜趣味・特技＞自然観察…自宅にビオトープ(生き物の居場所になる池)を作っています。ドラえもん…原作全巻持っています。グッズも大好き！
 ＜好きな食べ物＞ラーメン…特に二郎系ニンニクマシマシ
 ＜一言＞子どもの支援の仕事がしくてこの業界に入ったばかりの、ピカピカの一年生(44歳)です。山口の自然に惹かれて3年前に関東から家族で移住してきました。生き物と自然が大好きなので、のどかな仁保の風景を眺めながら、子どもたちとあぼろの庭で生き物探しをするのが楽しみです。よろしくお願いたします！

就労支援の取り組み

就労継続支援B型では今までの農園での仕事、多機能型事業所での室内作業は継続しつつ、新たな仕事にも取り組んでいます。

- ・ジュース販売 (伊藤園との業務契約により、ぴぽっと横で自動販売機でのジュース販売)
- ・「(株)松うら」委託作業 (ティーパックへのシール貼り)
- ・「(株)コセイ」との業務委託契約にて道の駅仁保の郷清掃業務 (月曜水曜金曜に道の駅にある缶、ペットボトル回収、灰皿清掃)
- ・「道の駅仁保の郷」委託作業 (国道沿い花壇草むしり、レストラン横花壇草むしり)

室内作業を行っていた利用者さんを中心に新規の作業を職員と共に頑張っています。今まで取り組んでいた軽作業や手芸品の製作の室内作業に加え、施設外で作業をすることで地域社会との連携、社会貢献を果たし、また、仕事を通じて得られる達成感を利用者の生活の質の向上に繋がるものと考えます。

道の駅仁保の郷にて清掃業務をしている利用者を見かけた際はぜひ応援してください。





そよかぜ棟
 三浦 美緒 津森 聡美
 吉田 早紀 上田真由美
 山下 絵美 末廣 優
 野村 親鈴 竹尾 真鈴
 竹廣 彩香

事務所・支援課
 松本 正(施設長)
 阿部 康彦(課長・サビ管)
 木村 彰孝(サビ管)
 遠藤 京子 村上 華純
 原 拓海 石田 圭美
 宮崎いずみ 中塚加奈子

のぞみ棟
 松原 章容 大本二三幸
 内山 寛之 岩田 幸子
 岩田玖莉子 藤本 烈
 梶野 彩夏

まきば棟
 矢富 友庸 八道 忠政
 杉本 和也 安達 稔
 堀田 拓児 中野 達也
 森岡 一成

オアシス棟
 原田 幸浩 千々松佑也
 井上 卓司 立野 儀朗
 沖村亮太郎 山内 優人
 有吉健太郎

食事
 馬場 桃子
 与国二美子 赤地 礼子
 山本 秀子 田村百合子
 栗林香代子 大庭喜代美

健康
 竹下 信恵 齋藤 康徳

**山口県発達障害者
支援センターまっぷ**
 吉富 徹
 金谷 陽子 正司 素子

**ひらきの里
スタッフ紹介**

GH I
 上村 優貴 池田 正和
 窪 祐樹 森川 亨
 吉富 英明 小林 良治
 中川小枝子

相談支援事業ぴぽっと
 貞光 敬子
 南波 航希 堀 美奈子

GH II
 伊藤 晋一 中野 大輔
 信岡 克典 田村 育巳
 宮本 節夫 吾郷 吉教

多機能型事業所ひらきの家
 平尾 要(施設長)
 若月 伸也(課長・サビ管)
 藤田 武紀(サビ管)
 倉永季巳江 藤野 彩香
 小林 健吾 河野 達夫
 山川紀美子 波多野和夫
 波多野純子

**多機能厨房
GH世話人**
 山縣 保枝 大坂 秀行
 松山美代子 古屋小百合
 松田 和美 坂井 萌絵

GH III
 松村 一孝 西岡 卓矢
 松田 俊朗 本廣 聖児
 岩本 紀夫 徳田 三幸

子ども通所サービスあぼろ
 白井 優子(課長)
 平尾裕美子(児発管)
 野崎由香利 砂川 琴乃
 藤山 智望 山下 正哉

退職者
 ~お世話になりました~
 福重工三 八木理江 篠原卓矢 岡村隆弘 福重祐美加 稲子田光男

法人単貸借対照表

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	388,019,167	382,294,053	5,725,114
現金預金	285,742,171	283,857,977	1,884,194
事業未収金	101,954,496	98,363,284	3,591,212
立替金	322,500	0	322,500
前払金	0	72,792	△ 72,792
固定資産	773,719,012	759,938,513	13,780,499
基本財産	587,236,803	610,312,668	△ 23,075,865
土地	176,716,153	172,558,153	4,158,000
建物	954,066,659	954,066,659	0
建物減価償却累計額	△ 544,546,009	△ 517,312,144	△ 27,233,865
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	186,482,209	149,625,845	36,856,364
建物	155,696,401	155,696,401	0
建物減価償却累計額	△ 123,455,969	△ 119,407,464	△ 4,048,505
構築物	50,044,512	44,412,512	5,632,000
構築物減価償却累計額	△ 37,996,850	△ 35,601,369	△ 2,395,481
機械及び装置	68,741,746	69,174,746	△ 433,000
機械及び装置減価償却累計額	△ 67,259,691	△ 67,504,500	244,809
車輛運搬具	11,048,428	11,048,428	0
車輛運搬具減価償却累計額	△ 10,843,837	△ 10,638,021	△ 205,816
器具及び備品	59,600,792	57,992,078	1,608,714
器具及び備品減価償却累計額	△ 52,026,556	△ 48,701,875	△ 3,324,681
建設仮勘定	65,986,000	30,410,000	35,576,000
ソフトウェア	335,880	1,168,128	△ 832,248
退職給付引当資産	66,601,353	61,566,781	5,034,572
出資金	10,000	10,000	0
資産の部合計	1,161,738,179	1,142,232,566	19,505,613

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	18,663,608	12,100,454	6,563,154
事業未払金	18,204,195	11,823,897	6,380,298
職員預り金	459,413	276,557	182,856
固定負債	66,601,353	61,566,781	5,034,572
退職給付引当金	66,601,353	61,566,781	5,034,572
負債の部合計	85,264,961	73,667,235	11,597,726
純資産の部			
基本金	170,035,355	170,035,355	0
第1号基本金	170,035,355	170,035,355	0
国庫補助金等特別積立金	183,061,513	190,876,976	△ 7,815,463
その他の積立金	0	0	0
次期繰越活動増減差額	723,376,350	707,653,000	15,723,350
(うち当期活動増減差額)	15,723,350	20,818,378	△ 5,095,028
純資産の部合計	1,076,473,218	1,068,565,331	7,907,887
負債及び純資産の部合計	1,161,738,179	1,142,232,566	19,505,613

法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	9,004,342	9,488,414	△ 484,072
	障害福祉サービス等事業収益	659,206,744	645,625,532	13,581,212
	経常経費寄附金収益		500,000	△ 500,000
	サービス活動収益計 (1)	668,211,086	655,613,946	12,597,140
	費用			
人件費	478,512,533	471,540,638	6,971,895	
事業費	77,054,844	81,905,617	△ 4,850,773	
事務費	63,798,986	49,271,341	14,527,645	
就労支援事業費用	12,792,638	10,139,352	2,653,286	
減価償却費	38,569,784	39,482,624	△ 912,840	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,815,463	△ 7,937,678	122,215	
サービス活動費用計 (2)	662,913,322	644,401,894	18,511,428	
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	5,297,764	11,212,052	△ 5,914,288	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	2,969	2,846	123
	その他のサービス活動外収益	10,400,620	9,703,315	697,305
	サービス活動外収益計 (4)	10,403,589	9,706,161	697,428
	費用			
	支払利息		29,917	△ 29,917
サービス活動外費用計 (5)		29,917	△ 29,917	
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	10,403,589	9,676,244	727,345	
経常増減差額 (7) = (3) + (6)	15,701,353	20,888,296	△ 5,186,943	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	22,000		22,000
	特別収益計 (8)	22,000	0	22,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	3	69,918	△ 69,915
	特別費用計 (9)	3	69,918	△ 69,915
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	21,997	△ 69,918	91,915	
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	15,723,350	20,818,378	△ 5,095,028	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	707,653,000	686,834,622	20,818,378
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	723,376,350	707,653,000	15,723,350
	基本金取崩額 (14)			
	その他の積立金取崩額 (15)			
	その他の積立金積立額 (16)			
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	723,376,350	707,653,000	15,723,350

法人単位資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	8,730,000	9,004,342	△ 274,342
	障害福祉サービス等事業収入	648,759,000	659,206,744	△ 10,447,744
	経常経費寄附金収入	100,000		100,000
	受取利息配当金収入	5,105	2,969	2,136
	その他の収入	9,732,000	10,400,620	△ 668,620
	事業活動収入計 (1)	667,326,105	678,614,675	△ 11,288,570
	支出			
	人件費支出	490,092,000	479,313,434	10,778,566
	事業費支出	96,800,000	77,054,844	19,745,156
事務費支出	57,765,500	63,798,986	△ 6,033,486	
就労支援事業支出	10,530,000	12,792,638	△ 2,262,638	
事業活動支出計 (2)	655,187,500	632,959,902	22,227,598	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	12,138,605	45,654,773	△ 33,516,168	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入		22,000	△ 22,000
	固定資産売却収入		4,158,000	△ 4,158,000
	施設整備等収入計 (4)		4,180,000	△ 4,180,000
	支出			
固定資産取得支出	50,716,000	51,473,714	△ 757,714	
施設整備等支出計 (5)	50,716,000	51,473,714	△ 757,714	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 50,716,000	△ 47,293,714	△ 3,422,286	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	747,614	800,901	△ 53,287
	その他の活動収入計 (7)	747,614	800,901	△ 53,287
	支出			
	その他の活動支出計 (8)	0	0	0
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	747,614	800,901	△ 53,287	
予備費支出 (10)				
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 37,829,781	△ 838,040	△ 36,991,741	
前期末支払資金残高 (12)	370,193,599	370,193,599	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)	332,363,818	369,355,559	△ 36,991,741	

栄養士だより



食中毒に気を付けましょう！



夏は家族や友達と BBQを楽しむ方も多いのではないのでしょうか？
夏の暑さは食中毒の原因となる細菌が好む環境です。屋外での調理は、
より食中毒の危険性が高まります。

食中毒を防ぐためには、細菌を食べ物に「つけない」、食べ物についた細菌を「ふやさない」、食べ物や調理器具についた細菌を「やっつける」の3原則がポイントです。

3つのポイントに注意し、楽しい夏の思い出を作りましょう！

つけない



こまめな手洗い
調理器具を清潔にする
焼き肉は、生肉用の箸、
食事に使う箸を2種類用意
する。

ふやさない



冷蔵10℃、冷凍-15℃以下
適切な温度で保管
冷蔵庫は詰め込み過ぎると
冷えにくくなるので
収納は容量の7割程度に

やっつける



肉や野菜は
中心温度75℃を1分以上
しっかり加熱する

ワークショップひらきからのお知らせ

ワークショップひらきは令和6年5月31日をもって解散しました。長年に渡り、関係の皆様には、ご協力を頂きありがとうございました。費用の一部は桜植樹費用として令和6年度後援会に寄付しました。残余財産につきましては、ひらきの里就労会計に寄付しました。

令和5年度 ワークショップ収支報告

令和5年4月1日～令和6年5月31日 (単位:円)

科目	収入部	科目	支出部
前期繰越金	2,247,187	人件費	0
物品販売	3,406,086	物品仕入	2,003,100
その他の収入	23	その他支出	287,196
残余資金			3,363,000
合計	5,653,296		5,653,296

残余資金の処分	1. 桜植樹費用として後援会に寄付	500,000
	2. ひらきの里就労会計に寄付	2,863,000
	合計	3,363,000

令和5年度 ひらきの里後援会収支計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日 (単位:円)

収入		支出	
摘要	金額	摘要	金額
前期繰越金	8,380,297	事務通信費	37,988
会費	772,000	振込手数料	0
利息	74	次期繰越金	9,114,383
合計	9,152,371	合計	9,152,371

サクラを植樹しました

入所施設の建て替え予定地に後援会の寄付により36本の桜植えました。数年後には桜の名所になるでしょう。



編集後記

今年も毎日暑い日が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の初めに能登半島で大きな地震があり、今もなお、避難生活をされている方は2000人を超えています。その中で、障がいをお持ちの方の逃げ遅れや、避難所での災害弱者の受け入れ等の問題が浮き彫りになりました。

復興には、まだまだ時間もかかりますが、一日も早く元の平穏な生活を取り戻されることを祈りつつ、自分たちもいつ被災者になるかもしれないと危機意識を常に持つ必要があります。

非常時にはひらきの里の利用者さんを守るように職員一同、防災意識を高め、設備や備品の確認等を今一度行っていきたいと思います。